

# グリーンライフサロン

## 1回目

## 子育てサロン

花房良子記



主人と食後の団らんで「日ごろグリーンライフを支えて下さっている会員さんに、これから役に立つことはなんだろう？」という話になりました。会員さんたちの色々な悩みや相談事を主人が聞いたときに、色々なテーマでサロンを開いたらその事に興味・関心のある会員さんの役に立てるのではないだろうか、と考えて出来上がったのがこの企画です。



今回は1回目で「子育て」を取り上げようと思います。

「うちの子供はアトピーですが、食事をどのように与えてよいか、いつも不安です」。

「日中は主人も留守だし、子どもだけと一人だと、息が詰まります」。

「離乳食を食べてくれません。食べないので、つい食べてくれるものをやっつけてしまいます」。

「勉強についていけるか心配です。塾はやはり必要ですか？」。

「受験をひかえてますが、勉強してくれませんが、どうしたら勉強してくれますか？」

「お小遣いはいくらくらいが妥当ですか？」

「兄弟げんかばかりです。仲良く育てる方法がありますか？」

「子どもの進路に悩んでいます。どのようにアドバイスしてあげたらいいのでしょうか？」などなど、主人は色々聞いて帰ってきます。

ご存知の方も多いでしょうが、わが家は男4人、女1人の5人の子どもがいて、今年の3月で最後の一人が外に巣立ちました。今振り返ると、よく無事で育ててくれたものだと感慨深いものがありますが、じつは全てが順調に行ったわけではありません。とくに3人目の女の子から、ひどいアトピーに悩まされました。グリーンライフを始めていましたし、食事には充分注意し、玄米菜食に近い食事も始めていました。なのになぜアトピーなんだとひどく悩んだものです。玄米菜食をしていなかった時の長男、次男にはまったくアトピーが出ずにすこぶる元気でした。4人目の男の子のときは、妊娠中注意してアトピーが出ないようにしたのに、もっと

ひどいアトピーが出たのです。食事に自信はなくなるし、食べ物の制限でイライラするし、その時主人はちっとも私の苦しみを理解してないと不満もありました。5人目の子はアトピーは出ませんでした。油断したせいか、今度はぜんそくが出てしまいました。こんな深刻な悩みも、離乳食をきちんとすることで、いちおうは乗り切りました。



ところが、長男が中学2年生になると、色々な事件を起こしてくれて、いつも学校に呼び出されては、担任や校長に頭を下げる日々を送り、思春期の子育てのむずかしさにぶち当たりました。私の子育ての仕方は間違っていたのだろうかとかクヨクヨ悩みました。そんな時、ある人がアドバイスしてくれました。「思春期の子どもはある日スイッチがオンになり、本人も訳がわからず悪いことばかりしてしまう。でも必ずオフのスイッチが入るから、子どもを信じてあげなさい」。このアドバイスがあったからこそ、私は長男をいつも信じることができましたし、あんなにかわいい子が悪くなるはずがないと思うことができました。そのとおりでした。今30歳になった長男は、植木職人として立派に働いていて、ものすごく親孝行の息子です。

今の家庭環境は、昔のように2世帯同居の家は少なくなり、初めての子育てなのに、お母さんが一人で判断しなければいけません。気楽になった分、気苦労も多く、若いお母さんたちにとってはずっと心配がつきまといます。私も、母に電話したり、友達に聞いたり迷いながら、やっと育ててきたように思います。でも、育て上げてみると、こんなこと悩んでいたな〜と冷静に自分の若い時を振り返ることができます。これでいいんだという確信も持てるようになります。今悩んでいる会員さんと、経験豊富な会員さんが交わる場所が、今回の企画の「子育てサロン」です。

今回起こった地震と津波でも、一番に求められた大切なものは、人々の「つながり」と「思いやり」です。グリーンライフの会員さんと、これからももっと繋がりたいと思っています。すでに子育てを終えられた会員さんは、若いお母さんたちには何より頼りになる先輩です。ぜひベテランお母さんの参加もお願いします。子育て経験を通じて蓄えられた知恵をお貸しください。

とにかく今回はグリーンライフサロン始まりの1回目です。肩ひじ張らず、主人が作る「チャイ」を飲みながら、ざっくばらんに何でも話せる楽しいサロンにしたいと考えています。

悩みを抱えたお母さん！子どもを育て上げたベテランお母さん！交流と知恵の交換のためにも、どうぞグリーンライフサロンにお気軽に参加してください。

## 一回目子育てサロン・報告文

花房良子記

4月23日（土）、4組の若いお母さんと7人の子どもたち、2人のベテランお母さん、保父さん経験のある男性会員さん1人が、一回目の子育てサロンに参加いただきました。最初は、お母さんに子供がギューとしがみついて離れる様子が見えませんでしたので、内心「お母さんとゆっくりお話できるかな～」と心配していたのですが、子供さんが3人、4人と増えていくにつれいつの間にか、置いてあったおもちゃや走り回るのに夢中になって、そんな心配も風のように飛んでいきました。

自己紹介をかねて、今悩んでいること、心配なことをお話していただきました。おやつのこと、子供の自立、親の期待しすぎ等いろいろ出てきました。



ベテランお母さんの2人というのは、私が色々なことにいつも相談に乗ってもらっている会員さんでもある友人です。アドバイザーとして今回参加してもらったのですが、さすがに子育ての経験が豊富ですので、色々わかりやすく話を進めてくれます。おやつのはやり方では、締め付けすぎて失敗したこと。子どもは親が期待することより、

ほめて開放してあげることの重要性。親の心配こそが子どもに見えない不安を与える事実などなど、お話は尽きないほどたくさん出てまいりました。

あるお母さんは、子どもからこんなメッセージをもらったことがあるそうです。「私はお母さんを選んで生まれてきたのよ。お母さんを選んで、ほんとに良かったと思うよ」。こんなことを言うのは不思議だったのだけれど、うれしかったのと同時に、子どもは自分のものではなくて、自分を選んで生まれてきた授かりものなのかもしれない、だったらこの子がもって生まれてきたものを、壊さないように自然に育ててあげなくてははいけないのでは、と思ったそうです。

話に夢中になっているところに、主人が甲斐甲斐しく、チャイを作ってくれたり、子どもにジュースやお菓子を出してくれています。びっくりしたのは、子ども相手に一緒に遊んでくれている主人の姿です。高い高いしたり、暗い部屋に連れて行って、おばけごっこをしたり、自分の子育てには見られなかった子煩悩な姿なのです。

そこで子育てと父親のかかわりについて、「主人とまったく育て方の意見が違う、ちっとも子育てに参加してもらえない。」などの私からの愚痴も出てきて、矛先が父親に向きました。結局、父親の出番はもっと子どもが大きくなってから発揮してくれるもので、意外な時に父親の存在を知ることになるものです。意見の食い違いも、違った考えがあるほうが、子育てには有効であって、何よりも大切なことは、夫婦が仲良しであることみたいです。夫婦仲良くするのは口で言うのは簡単ですが、

これは生きていく上での修行のようですね～～。

外はあいにくの雨でしたが、家の中はにぎやかな子どもの声で、このまま保育園を始められそうな雰囲気でした。帰る頃には雨もすっかりやんで、駐車場のに置いてあった大きな土管が良い遊び場になり、「もう帰りたくない！」とお母さんを困らせた腕白小僧たちもいたのです。・・・。

最後に、参加できなかったベテランお母さんからお手紙をいただきました。ここに紹介させていただきます。また、終わってすぐにお電話いただき「今日のサロンどうでしたか??」と心配していただきくださった会員のMさん、色々な人に支えられてのグリーンライフサロンのスタートでした。

..... 会員のHさんより (要約) .....

この度グリーンライフサロン開催のお知らせを聞いて「いいなあ、つながって大きな輪になれば素晴らしいな」と賛同しています。

私の家も長男29才、二男22才と何とか無事に育ってくれています。御多分にもれず、長男はとてもしにくい子供でした。祖父母にとっても初めての孫ということで、手をかけられすぎたのかもしれない。私も「自分の仕事は又いつかできる、子育ては私の手で」という強い気持ちがありました。母親べったりでよく泣き、わがままいっぱい、入園式でも只一人だけ私から離れることができず、「何でなんやろ、なさけないなあ」と当時は悲しくて、この先どうなるのかなあ・・と惨めでした。でも内弁慶でしたが、外へ連れて行くのはぐずったりしなかったもので、楽でしたので子育て関連の講座や劇、舞台など積極的に連れて行き、一緒に楽しむことができました。二男が生まれるまでの濃密な親子関係、いいか悪いかは別ですが、今思えば幸せな時間をたっぷりもてました。五年生の終わりにクラスの友達4、5人と一緒に一人の子供をからかったり、いじめたりしていたと聞いて、長男を連れてその子の家にあやまりに行ったことがありました。その子の母親はひどく怒っていて「どんな育て方をされたのですか・・」とまで言われ、涙があふれとまらなくなりました。ほんとにショックでした。多人数で一人をいじめるといふ一点で私は長男を許せなかったのも、ただあやまるしかすべはなかったのです。

子供に何か起こったら、又何か問題を起こしたら、それはすぐに母親の私にかえってきて、私の何かが間違っているとか、やり方がまずかったとかよく思い考えこみました。そして夫に「男親はそんなことないでしょう。いいわねえ。」と言いました。夫は反論しませんでした。

家々によって子育てに主に関わるのが父であったり、母であったり。この頃は二人でと変化してきているようですが、みな色々なことを経験して波を乗り越え、何とかなってきたと、実感しています。子育て中は悩んだらいい、落ちこんだらいい、いつか何とかなる、そんな気がします。でも一人で悩まないで。だれかに話したらいい。遠慮しないで心を開けば、誰かが必ず聞いてくれる。人はそんなに強くないから、人に頼る、甘えることも時には大切です。グリーンライフサロンの存在が、楽しく心強いものになるといいですね。心より声援を送ります。

..... Hさんありがとうございます.....